DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー

DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー（本誌）
2025年12月号（11月10日発売予定）
DHBRオンライン
2025年11月10日公開

ダイヤモンド社

12月号 編集特集
（11／10発売号）

P. F. ドラッカー真摯さとは何か
没後20周年企画

AIファーストで切り拓く未来志向の経営
成果を最大化するAI活用の成功の鍵とは

【対象サービス】
- **AIコンサルティングサービス**
- **AIエージェント実装支援サービス**
- **AIプラットフォーム**
- **クラウドAIサービス**
- **AIガバナンス体制整備コンサルティング**
- **業務特化型AIエージェントサービス**

2025年7月現在

※表紙イメージ
（実際とは異なります）

■企画趣旨

本企画では、人手不足の深刻化の解決、業務自動化の促進、データドリブン経営実行のため、生成AI活用やAIエージェントの導入が効果的であることを解説し、経営者・事業責任者に対して、AI活用による様々な課題解決の可能性を訴求します。

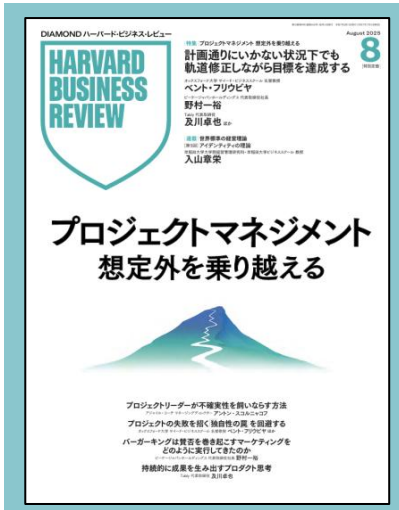
AI技術の進化が加速する中、企業経営は今や「AIファースト」への本格的な転換を迫られています。従来の業務効率化やコスト削減といった活用を超え、AIを経営戦略の中核に据えることで、新たな競争優位が生まれます。なかでもAIエージェントの登場は、経営層にとって信頼できる意思決定パートナーとなりつつあり、未来志向の経営を実現するための重要な存在となっています。

一方で、AI活用には情報漏洩やハルシネーション、ブラックボックス化といったリスクも内在しています。AIの判断を鵜呑みにすることは、企業の意思決定やガバナンスを揺るがす危険性を孕みます。真にAIファーストを実現するには、強固なガバナンス体制と技術的な透明性の確保に加え、人間ならではの倫理観や直観的判断力との融合が必要不可欠となっています。

そのため、今求められているのはAI活用とリスク管理を両立し、競争優位性を獲得するための基盤を提供してくれる外部パートナーとの連携です。自社の課題やビジョンに即したAIソリューションを的確に導入・運用することで、単なる技術導入にとどまらず、組織全体の意思決定力や成果を最大化させることができるでしょう。

そこで、DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー2025年12月号(11月10日発売)にて、「AIファーストで切り拓く未来志向の経営成果を最大化するAI活用の成功の鍵とは」と題した広告企画を実施いたします。 経営層や事業責任者などAI導入に悩んでいるキーマンに対して、成果を最大化するAI活用の成功の鍵について、読者の方々に、広告主様の製品・サービスの優位性や付加価値を訴求していきたいと考えております。

この機会にぜひご出稿をご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。



DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー とは

**米国以外では世界で最も早く1976年に創刊。
2026年に50周年を迎えます。
創刊以来、グローバル・リーダーを目指す人のための日本で唯一のマネジメント誌として高い評価を受けており、最近では、起業家やベンチャー経営者など若手のビジネスリーダーからも絶大な支持を得ています。**

■2025年12月号（11月10日発売）編集特集内容

P. F. ドラッカー 真摯さとは何か（仮題）
（没後20周年企画）

“マネジメントの父”ピーター F. ドラッカーの逝去から、2025年11月で20年が経つ。巨星は落ちてもその教えはいまだ色褪せることなく、ベテランの経営者からスタートアップ企業のファウンダーまで、世代を超えて影響力を及ぼし続けている。ドラッカーの生涯を通じた最大の関心事は「社会的存在としての人間の自由と平等」であり、そのために社会、組織、企業はどうあるべきか、一人ひとりの人間は何をなすべきかを問い続けた。その精神は、AI全盛のこの時代だからこそなおいっそうビジネスリーダーの心に直接訴えてくるものがある。
この号では、ドラッカー没後20周年という節目にあらためて思想家ドラッカーに光を当てる。その著作、その教えを紹介するとともに、いまという時代の文脈に合わせてドラッカーをどう血肉にしていけばよいのか、読者をガイドする。

●セクション1（概論：特集全体のメッセージを打ち出す）8p
いまこそ問う、誰がためのマネジメントか：ドラッカーが希求した「人間中心の経営」（仮）
by ジム・コリンズ（『ビジョナリー・カンパニー』著者）
ドラッカーは生前最後のインタビューで、「ネット社会の進展によって何が起きるかはわからない」と語っていた。それから20年の歳月が流れる間に、社会はどう移ろい、マネジメントのあり方はどう変わってきたのか。ドラッカーが生きた時代から社会が大きく変容したいま、私たちがふたたび参照点とすべきドラッカーの慧眼あるいは警句とは何か。ドラッカーの思想を深く理解し、『ビジョナリー・カンパニー』をはじめとする著作を通して世界の経営者たちに時代を超えてインスピレーションを与えているジム・コリンズ氏に聞く。

●セクション2（「真摯さとは何か」を多面的に捉える）6p×3＝18p
- 経営者枠　by 髙田明（ジャパネットたかた 創業者）※確定
- 国際機関枠by 中満泉（国連事務次長）※確定
- 専門家枠　by 中島隆博先生（東京大学教授、哲学者）※確定

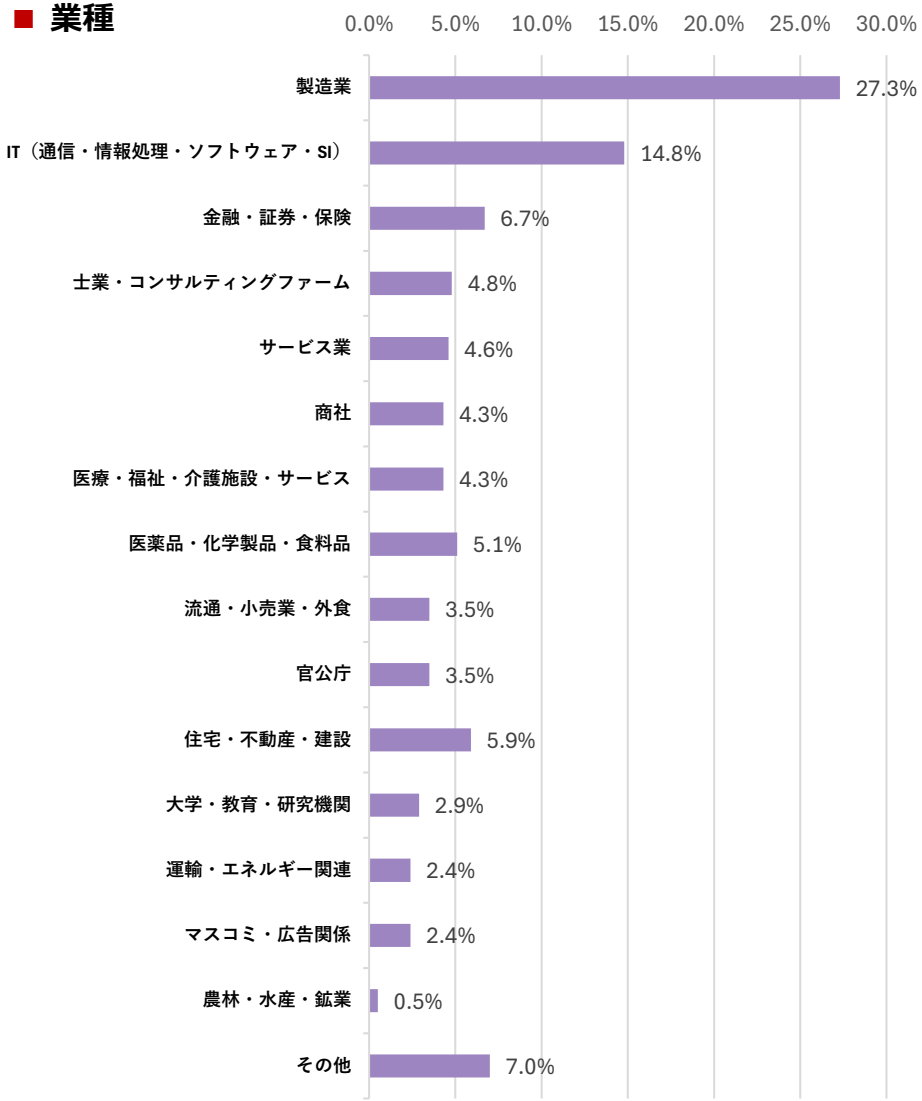
●セクション3（書評編）4p
なぜドラッカーは「真摯さ」にこだわったのか。ドラッカーの薫陶を受け、その著作をすべて読破されている**田中弥生さん（会計監査院長）**に、「真摯さ」の視点から3〜5冊、ドラッカー本を選んでもらう

●セクション4（ドラッカー論文再掲）12-14p

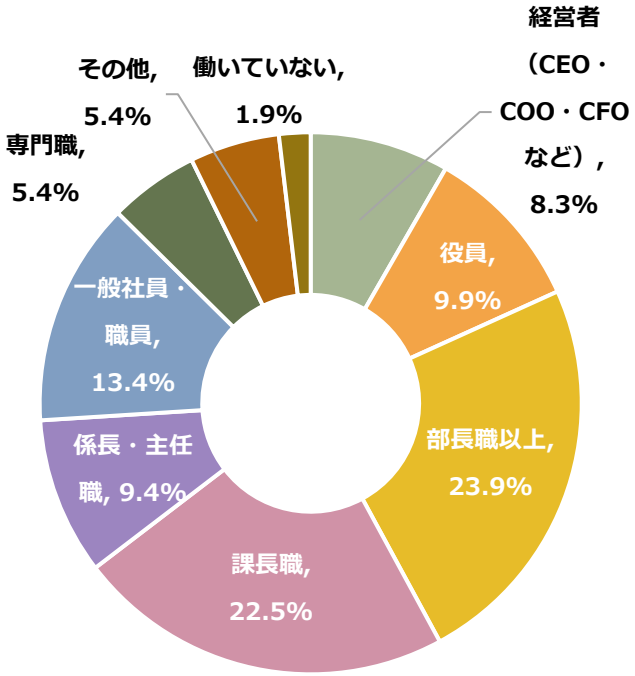
＊コンテンツ内容、取材対象は変更になる可能性がございます。

■DHBR読者属性①

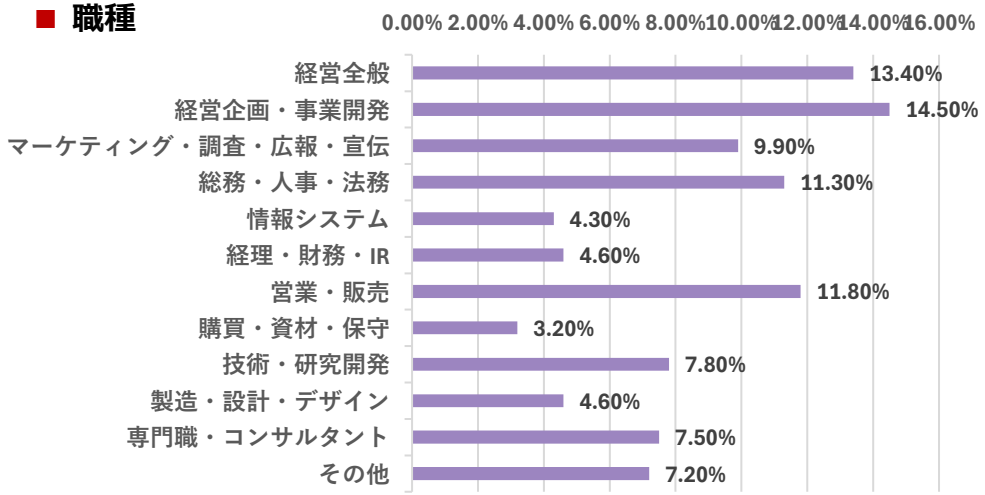
■ 業種



■ 役職

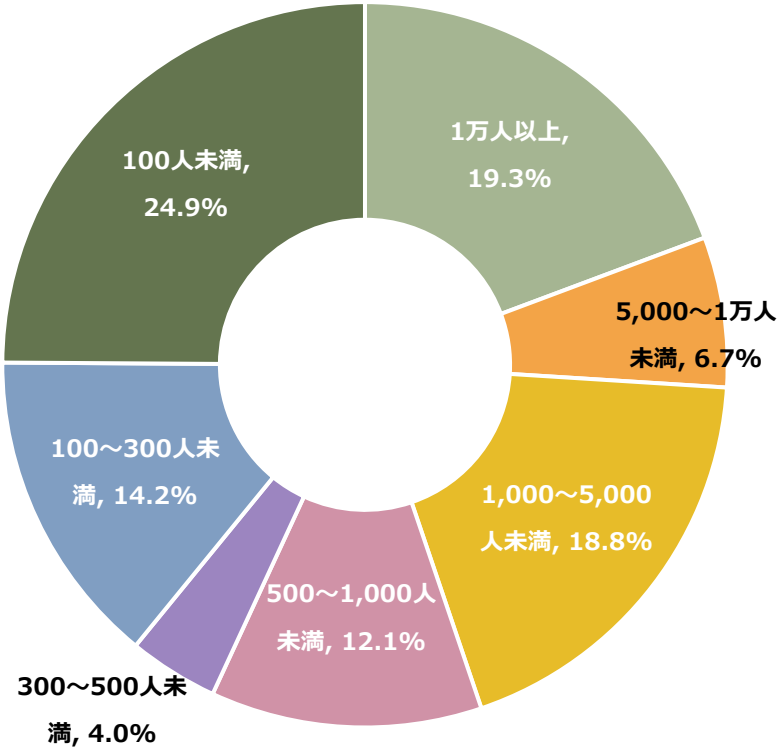


■ 職種

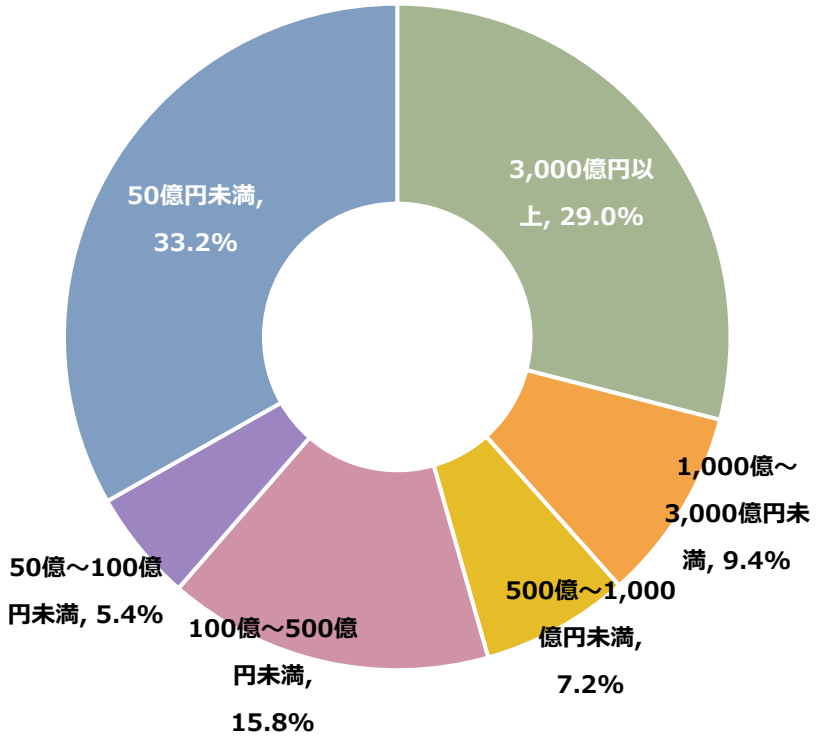


■DHBR読者属性②

■ 勤務先従業員数



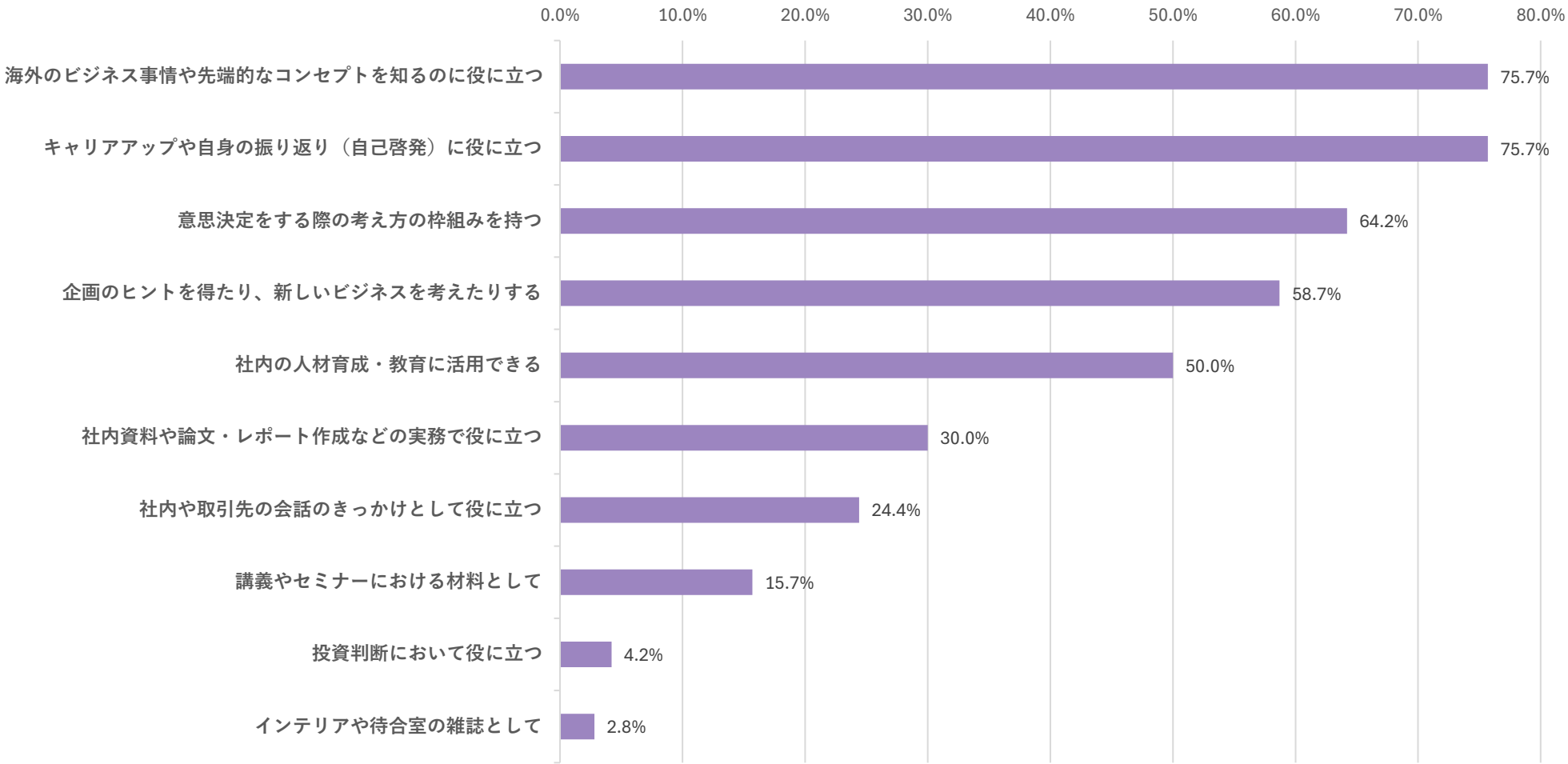
■ 勤務先売上規模



▪DHBR読者属性③

■ DIAMONDハーバード・ビジネス・レビューの活用方法

先端的な経営コンセプト、キャリアップ、意思決定に活用



■広告掲載概要

連合企画ならではの構成で掲載されるタイアップ記事で効果的にメッセージを伝えることが可能です。
本誌/オンライン両方活用した**ハイブリッド掲載**に対応しています。

広告企画：タイアップ

広告企画：総論

※協賛企業が2社の場合の展開例

オンライン転載を
同時に実施可能

本誌

編集特集

P. F. ドラッカー真摯さとは何か
没後20周年企画(仮)論文

オンライン

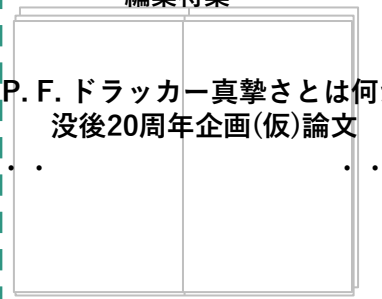
■DHBR 誌面展開イメージ

広告企画：タイアップ

広告企画：総論

※協賛企業が2社の場合の展開例

編集特集



P. F. ドラッカー真摯さとは何か
没後20周年企画(仮)論文

各論記事（≒広告タイアップ）
広告主様各社へ取材を行い、独自の視点で貴社サービスの特長や強みをタイアップ記事としてまとめます。

総論記事
企画テーマの内容に知見を持つプロフェッショナル、専門家へのインタビューやビジネス課題などについての解説記事を掲載いたします。

※編集特集につづいて広告企画を展開いたします。

＜備考＞
※1社ご参画の場合、総論はつかず、扉1Pのみとなります。
※2社ご参画の場合は、扉はつかず、総論2Pのみとなります。
※3社以上ご参画の場合は、扉+総論2Pの掲載となります。

■DHBRオンライン展開イメージ

本誌掲載内容をオンラインに転載。DHBRオンライントップ、ダイヤモンド・オンラインの広告誘導枠から読者をタイアップページへ誘導いたします。

DHBRオンライントップ

ダイヤモンド・オンライン広告誘導枠

DIAMOND online

誘導

オンラインタイアップ（転載）

広告主様サイト

www
■.com

※掲載終了後に掲載レポートを提出

■企画料金（誌面／オンライン）／オプション料金

▼誌面2ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色2ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	490万円	370万円	300万円	250万円
オンライン掲載 保証PV	転載10,000 PV	転載5,000PV	10,000PV	–

▼誌面4ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色4ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	690万円	570万円	300万円	450万円
オンライン掲載 保証PV	転載10,000 PV	転載5,000PV	10,000PV	–

▼オプション

・抜刷冊子

4色4ページ×1,000部～

450,000円～（税別）

※一社単独での抜き刷りの場合。

1,000部以上ご希望の場合はお問合せ下さい。

・オンラインタイアップ外部ブースト

レコメンド　SNS　ニュース

ご要望に応じてお見積もりいたします、
ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

[本企画のお申込み締切]

タイアップ申込締切：2025年8月28日（木）

【お問い合わせ】
株式会社ダイヤモンド社　メディア局
ソリューション営業部
〒150-8409東京都渋谷区神宮前6-12-17
TEL:03-5778-7220　FAX:03-5464-0783
Mail:web_ad@diamond.co.jp